

校舎配置計画比較検討

		A案 イメージ	B案 イメージ	C案 イメージ
		小中共有タイプ		小中独立タイプ
校舎配置イメージ				
配置計画	動線の確保し易さ	道路に面している部分が多いため、各動線の選択肢が多い。 道路からの動線が短くできる。	道路に面している部分が少ないため、各動線の選択肢が少ない。 道路からの動線が長くなる。	道路に面している部分が多いため、各動線の選択肢が多い。 道路からの動線が短くできる。
		○	△	○
	児童・生徒動線と図書館若葉分館との分離	各動線の選択肢が多いため、分離も容易。	各動線の選択肢が少ないため、動線が近接する可能性有り。	各動線の選択肢が多いため、分離も容易。
		○	△	○
	児童・生徒動線と学校関係者との分離	同上	2通りのみ	同上
		○	△	○
	児童・生徒動線	※図書館及び学校関係者の動線によって、動線決定。		
建物形状	管理諸室と教室等との移動し易さ	平面形状が整形のため、管理諸室を中心とした回廊型の廊下を配置可能。	平面形状が比較的整形のため、管理諸室を中心とした回廊型の廊下を配置可能。	平面形状が細長いため、主に片廊下型となる。 ツインタワー型のため、上層階における移動が困難。
		○	○	×
グラウンド計画	グラウンドの形状 ※広さは全て同程度とする	まとまった範囲で確保可能	新校舎と既存体育館により、南北で分断される	まとまった範囲で確保可能
		○	×	○
	冬季の日照	南側に校舎を配置しているため、校舎直近部分の日照少ない	南北に抜けているため、日照多い	南側に校舎を配置しているため、校舎直近部分の日照少ない
		△	○	△
周辺への影響	日影	南側に配置しているため、北側周辺地域への日影の影響が少ない	西側に建物が寄っているため、北西周辺地域への影響が大きい	高層建物となるため、北側周辺地域への影響がある。
		○	×	△
	視線影響 (プライバシー保護)	南西側隣地への影響が比較的少ない	南西側隣地への影響がある	高層建物となるため、南西側隣地への影響がある
		△	×	×